様式第11号(第14条関係)

|  |  |
| --- | --- |
| 賦課年度 | 　 |
| 受益者コード |  |

年　　月　　日

下水道事業受益者負担金等変更通知書

　従前の受益者(新たな受益者)

　　　　　　　様

出雲市上下水道事業管理者

下水道事業受益者変更に対して次のとおり決定いたしましたので、出雲市公共下水道事業受益者負担及び受益者分担に関する条例施行規程第14条第3項の規定により通知します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 土地の所在地 | 地目 | 地積(m2) | 負担金額 |
| 　 | 　 | 　 | 円 |
| 　 | 　 | 　 | 円 |
| 　 | 　 | 　 | 円 |

　従前の受益者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度賦課分負担金等の額A | 年度賦課分納付済額B | 年度賦課分承継納付額C | 変更後納付額D＝A－B－C |
| 円 | 円 | 円 | 円 |

　新たな受益者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度賦課分負担金等の額A | 年度賦課分納付済額B | 年度賦課分承継納付額C | 変更後納付額D＝A－B＋C |
| 円 | 円 | 円 | 円 |

１ この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して３か月以内に、出雲市長に対して審査請求をすることができます。

２ 処分の取消しの訴えについては、上記１の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができませんが、次のいずれかに該当する場合は、この裁決を経ずに訴訟を提起することができます。

（１）審査請求があった日から３か月を経過しても裁決がないとき。

（２）処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。

（３）その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

なお、上記の場合の処分の取消しの訴えは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６か月以内に、出雲市を被告として（訴訟において出雲市を代表する者は出雲市上下水道事業管理者となります。）、提起することができます。

３ ただし、上記の期間が経過する前に、この処分があった日の翌日から起算して１年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することはできなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分があった日の翌日から起算して１年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。